

## 【内面ポリエチ貼り耐溶剤ホース】

## 用途

流 体	各種溶剤類、各種酸・アルカリ、各種食品類等
使用温度	0°C ~ +60°C
使用場所	ローリー車、化学薬品工場、食品関係工場等

## 特 長

- 内面層に特殊ポリエチレンフィルムを貼っておりますので、各種溶剤類及び、酸・アルカリ類に対して、従来のゴムホースより耐久性が優れ、かつ軽量の為、扱い易いホースです。  
また、食品用途でも内面のポリエチレンは、FDA(米国食品医薬品局)規格適合、食品衛生法適合のため、安全にご使用になれます。
- 本体補強として合成繊維コードを使用しており、柔軟性に優れ、取扱いが容易です。
- ゴムホースに比べて摩擦係数が低い為、流体がよりスムーズに送れます。

## 標準規格

ホース本体にアース線入り

呼称 (φ)	内径 (mm)	外径 (mm)	本体仕様	使用圧力 (MPa)	最小曲げ半径 (mm)	参考重量 (kg/m)	最大単長 (m)
25	25.4	37.5	2CP	1.0	250	0.8	10
32	31.8	45.0	2CP	1.0	320	1.0	10
38	38.1	52.0	2CP	1.0	380	1.2	10
50	50.8	66.5	2CP	1.0	500	1.8	10
65	63.5	79.0	2CP	1.0	650	2.2	10
75	76.2	97.0	4CP	1.0	750	3.2	10

## 構造図



## 注意事項

加熱流体で65°Cを超えるもの、また強酸(濃硫酸・硝酸)で40°Cを超えるもの、および発煙硫酸・濃硝酸には絶対使用しないで下さい。

PE (超高分子ポリエチレン) 耐薬品性一覧表 ※PEメーカー資料

流体		23°C	50°C	75°C
酸	塩酸(50%)	◎	◎	煮沸×
	酢酸(20%)	◎	○	×
	酢酸(80%)	◎	○	×
	硝酸(30%)	◎	◎	
	硝酸(70%)	×		
	硫酸(10, 30, 60%)	◎	◎	
	硫酸(100%)	◎	×	
	リン酸(25%)	◎	◎	煮沸×
	リン酸(50~100%)	◎	◎	煮沸×
	フェノール(石炭酸)	◎	△	
	フタル酸	◎	◎	×
	ギ酸	◎	◎	
	マレイン酸	◎	◎	
	クロロスルホン酸	×		
	オレイン酸	◎	◎	△
アルカリ	アンモニア	◎	◎	
	炭酸アンモニウム	◎		
	水酸化アンモニウム	◎	◎	
	水酸化バリウム	◎	◎	
	水酸化マグネシウム	◎	◎	
	水酸化カルシウム	◎	◎	煮沸×
	水酸化カリウム	◎	◎	◎
	炭酸カリウム	◎		
	炭酸ナトリウム	◎	◎	◎
	重炭酸ナトリウム	◎		
	水酸化ナトリウム	◎	◎	◎
	硝酸ナトリウム	◎		
	重クロム酸ナトリウム	◎	◎	◎
	リン酸ナトリウム	◎	◎	◎
	次亜塩素酸ソーダ			
	アニリン	◎	○	△
有機溶剤・アルコール類	ベンゼン	△	×	
	トルエン	◎	△	×
	キシレン	△	×	
	ニトロベンゼン	◎	×	×
	シクロヘキサン	◎	◎	
	シクロヘキサン	◎	×	×
	トリクロロエタン	△	×	
	トリクロロエチレン	×		
	エチレングリコール	◎	◎	◎
	ヘキサン	◎		
	ガソリン(無鉛)	◎	○	
	塩化ベンゼン	○	×	
	クロロホルム	○	×	×
	原油	○	○	
	灯油	○	△	
	鉛油	○	△	×
	パラフィン	○		
	ホルムアルデヒド	◎	◎	
	アセトアルデヒド	○	△	×
	アセトン	○	◎	×
	メチルエチルケトン	○		
	エーテル	○		
	ジエチルエーテル	○		
	ブチルアルコール	○	◎	◎
	イソプロピルアルコール	○	◎	◎

流体 [%・°C]		23°C	50°C	75°C
その他	過酸化水素	◎	○	△
	オゾン	○	△	
	二酸化炭素	◎	◎	
	硫黄	◎	◎	
	水素	◎		
	メタン	◎		
	天然ガス	×		
	尿素	◎		
	ゼラチン	◎		
	果汁	◎	◎	◎
	ビール・ウィスキー	◎		
	ワイン	◎	◎	
	ミルク	◎	◎	◎
	海水	◎	◎	◎
	洗剤	◎	◎	

◎ : 全く、あるいはほとんど影響がない。  
 ○ : 若干の影響はあるが、条件により十分使用に耐える。  
 △ : なるべく使わない方がよい。  
 × : 著しい影響があるため、使用に適さない。  
 空白 : データなし。

本データはあくまでも参考データですので、サンプルによる実使用条件下での予備試験の実施をおすすめいたします。

本表に記載されていない流体で使用される場合は、お手数ですが都度お問い合わせください。

※ホースの状態では、加熱流体で65°Cを超えるもの、また強酸(濃硫酸・硝酸)で40°Cを超えるものには向きません。